



「元気で」「楽しく」 ボランティア活動を…

日本赤十字社島根県支部
事務局長 布野典男

松江市ボランティア連絡協議会30周年おめでとうございます。

現在100を超える団体が登録され、唯一の市民ボランティア組織として認知されていることをうれしく思っております。

物質的な豊かさを求める時代から、心の豊かさを求める時代に移行しつつある中、ボランティアニーズも変わってきています。社会福祉施設や生活困窮者にかかわるものから、教育・文化・医療・保健など多様化しています。「共生」といわれる現代において、環境づくりや地域社会づくりにもボランティアのかかわりが大きくなってきました。

平成7年の阪神・淡路大震災後、災害ボランティアが大活躍しました。その後災害時には、老若男女問わず、たくさんのボランティアが活動をしています。

こうした一つひとつの活動が、災害だけでなく、必要とされるボランティア活動につながって来ています。今後も様々なニーズに応じたボランティア活動が展開されるよう期待しています。

ボランティア活動は、「いつでも」「どこでも」「誰でも」「身近なことから」「無理せず」「楽しく」「自分（達）ができることを」「長く継続して」「自信を持って」行うことが原則です。そして、行動することによって、得るものも多々あります。たとえば、心が豊かになったり、今の自分がいかに健康で幸せかを感じることができたりします。

そのためにも、ボランティアグループがお互いに連携をとりあいながら、一人ひとりが心身ともに健康で活動することができるよう日頃から心がけることを望みます。

松江市のボランティア活動が、ますます盛んになることを祈っています。



葵行列